

経験豊富な講師陣から明日から使える“知恵”と“技”を学ぶ!

# 分娩進行を促すための 助産ケアとフリースタイル 分娩介助 **体験演習**



ねらい・お客様の声は

日総研 14662

検索

## 分娩がなかなか進まない時に混乱しないための判断・対応とドクターコール

**上野恭子氏** 国際医療福祉大学 福岡看護学部  
看護学科 特任准教授

1972年浜の町病院に入職、小児科、産婦人科師長を歴任。その間、助産師外来、院内助産を開設した。2012年愛媛県立医療技術大学助産専攻科、2015年より国際医療福祉大学福岡看護学部看護学科に入職し、現在に至る。

**川野敦子氏** 助産院 町のさんばさんさんば長

10年間の病院勤務と、10年間のフリーでの助産師経験を経て、1998年北九州市に“自分の思う産前産後ケアをしたい”という思いで「助産院 町のさんばさん」を開院し、24時間態勢で出産をバックアップしている。

<b>名古屋</b>	18年 8月5日(日)	名古屋国際会議場
<b>大阪</b>	18年 10月28日(日)	田村駒ビル
<b>東京</b>	18年 11月25日(日)	損保会館

[講義時間] いずれも10:00~16:00

**参加料** 一般 22,000円 会員 19,000円  
税 込 ※会員は日総研専門誌(定期刊行物)の年ぎめ購読者です。  
※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。  
※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数17人。

### プログラム

#### 1.【事例学習】分娩がなかなか進まない時の判断・対応 促進剤を使用するタイミング、 ドクターコールの判断、医師との連携 ほか

- 1) 内診所見だけでは胎児の胎向が不明、体位変換では変わらず遷延が続いている
- 2) 回旋異常時、母体がどのような体位をとるべきか? どのようにしたら陣痛を安全に強められるのか?
- 3) 夜間、胎児心拍数の変動(心音低下)時のドクターコールの判断
- 4) 陣痛があるのになぜ進行しないのか? このまま経過観察で良いのか?
- 5) 無痛分娩で身体の姿勢を変えたり、動いたりできない
- 6) 産婦の体力(疲労)も限界となり、心も折れてしまった時の声かけ(励まし方)と家族への対応
- 7) 子宮口全開大なのに児頭下降がなかなか進まない、もう少し待つか? それとも帝王切開にした方が良いか? ~医師と考え方・判断の違いが生じた時にどうするか?
- 8) 体位を変えたり、排泄ケアをしたりするのが難しい
- 9) 早発が頻発し、微弱陣痛が続いている
- 10) エコーを行うが、正常であるか異常であるか判断に迷う ほか

#### 2.【体験演習で深める】 フリースタイル分娩の特徴と分娩介助のポイント

- 1) 仰臥位・半座位の特徴とメリット~分娩台仰臥位との違い
- 2) 側臥位の特徴とメリット
- 3) 四つん這いの特徴とメリット
- 4) スクワットの特徴と留意点
- 5) 立位の特徴と留意点

#### 3.まとめ・質疑応答

ホームページ 毎週更新 現場から生まれた専門性を磨く研修と教材 日総研 検索

現場で育まれた“知恵”と“技”で実践力を!  
**臨床助産ケア**  
スキルの強化

隔月刊誌  
(年ぎめ定期刊行物)  
A4変型判 120頁  
入会金 3,000円  
年間購読料 16,971円  
(共に税込)

9-10月号  
特集

- 産後ケア最前線 様々な施設の工夫や取り組み実践を詳しく紹介!
- 妊娠糖尿病(GDM)の管理 病態生理からケアの実際まで!

助産ケア

検索

▶詳細はホームページで [www.nissoken.com](http://www.nissoken.com)

●お申し込み受付後、通常1週間以内に参加証をお送りしています。参加証が届かない場合にはお問い合わせください。

<b>FAX申込書</b> 分娩進行を促すための 助産ケアとフリースタイル 分娩介助【体験演習】[14662]	▼受取確認者氏名を必ずフルネームでお書きください		送付住所 TEL( ) - 〒 -	施設宛 請求書 必要 ・ 不要
	ふりがな	氏名 (受取 確認者)		
↓参加地区に✓印を	生年月日 西暦 19 年 月 日	▼日総研の会員制・専門雑誌をご購読の方はお客様コードをご記入ください		
[3] <input type="checkbox"/> 名古屋 8/5 [4] <input type="checkbox"/> 大阪 10/28 [5] <input type="checkbox"/> 東京 11/25	お客様コード	役職・部署	送付先 自宅 ・ 勤務先	
ご連絡をお送りします。メールアドレス				

FAX ☎0120-052690 電話 ☎0120-054977

★会員とは日総研専門誌(定期刊行物)の年ぎめ購読者です。

**日総研会員はセミナー3,000円引き!**

主催 日総研出版 〒451-0051 名古屋市西区則武新町3-7-15 日総研ビル

※日総研ではご提供いただいた個人情報は目的に従い適切に利用しております。詳細は[www.nissoken.com/privacy](http://www.nissoken.com/privacy)